

機種選定方法

パンロムは、適用される容積により、除湿できる能力(内部湿度)が決まります。グラフ上の曲線と、容積の交点における湿度がパンロムの能力を表わし、この湿度まで下がります。(換気回数 $n=0.75$ 回/h)

下のグラフは、最悪の外気気象条件(外気湿度100%)のときの湿度と容積の関係を示しています。

パンロムを適用される設備の密閉度は 換気孔が付いてい

ないもの、扉はパッキン付きの構造、つまり、一般家庭で除湿を行う場合、窓を閉めるのと同様、できるだけ湿った外気が入ってこないような構造としてください。

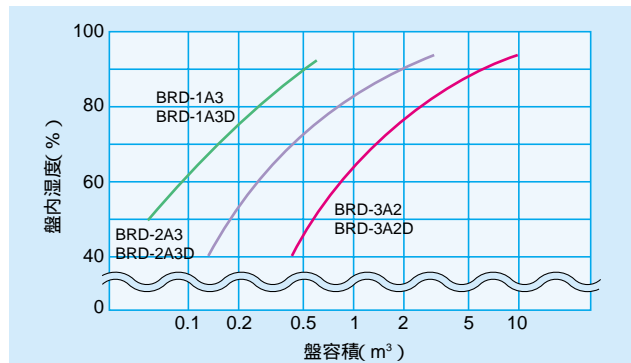
この図・表は、パンロム1台のときのものです。2台、3台と増やすと、適用容積は、表示の容積の台数倍となります。たとえば2台の場合、表示の0.1m³は0.2m³に、0.5m³は1.0m³と読みかえることができます。パンロムは、外気の湿度にかかわらず、内部の湿度を最低40%程度まで下げることができます。これ以下の湿度になることはありません。

自然対流方式

冷却面を通過する空気を、冷却素子上部に設けた放熱フィンおよび電源トランスの発熱を利用して自然対流させる構造で、連続運転します。

パンロム作動後の内部湿度(外部湿度100%)

モデル 対応容積	BRD-1A3 BRD-1A3D	BRD-2A3 BRD-2A3D	BRD-3A2 BRD-3A2D
0.1m ³	60%	40%	40%
0.5m ³	90%	70%	40%
1.0m ³	—	85%	60%
2.0m ³	—	90%	75%
5.0m ³	—	—	90%

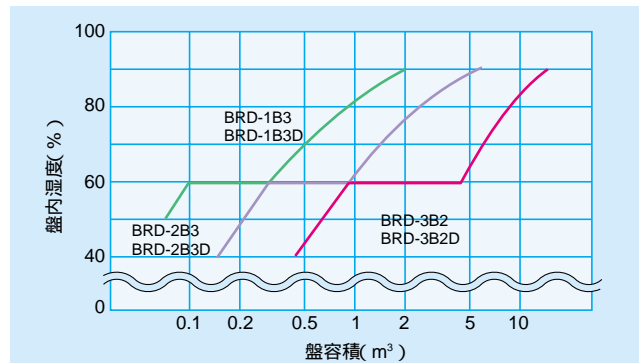


自動強制対流方式

冷却面を通過する空気量を多くするとともに、放熱フィンの放熱効果をも高めるため、ファンを設け、除湿能力をアップさせます。常時は自然対流ですが、高湿度時(60%)に内蔵の湿度センサが動作し、ファンを運転して強制対流させます。

パンロム作動後の内部湿度(外部湿度100%)

モデル 対応容積	BRD-1B3 BRD-1B3D	BRD-2B3 BRD-2B3D	BRD-3B2 BRD-3B2D
0.1m ³	60%	40%	40%
0.5m ³	70%	60%	40%
1.0m ³	85%	60%	60%
2.0m ³	90%	75%	60%
5.0m ³	—	90%	65%
10.0m ³	—	—	80%



強制対流方式

空気の取り込み、放熱フィンの放熱をファンにより強制対流させるもので、連続運転タイプと高湿度時(60%)内蔵湿度センサが動作し運転に入る制御運転タイプの2方式があります。

パンロム作動後の内部湿度(外部湿度100%)

モデル 対応容積	連続運転 BRD-M12	制御運転 BRD-MC12
0.1m ³	40%	60%
0.5m ³	60%	60%
1.0m ³	75%	75%
2.0m ³	85%	85%

